

第 18 回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和 2 年 1 1 月 1 7 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 1 0			
開催場所	第 1 委員会室			
出席者	○会 長 山本貴広 (県都創生山口) ○副会長 湊 和久 (自由民主党山口) ○委 員 馬越帝介、藏成幹也 (自由民主党山口)、瀧川 勉、山下 宏 (県都創生山口)、 村上満典 (公明党)、植野伸一 (ふるさと共創やまぐち)、尾上頼子 (日本共産党)、 山見敏雄 (市民クラブ) ○委員外議員 伊藤 斉 (高志会) 竹中一郎 (山口維新の会)			
記録者	書記 金田	欠席者	氏永東光	傍聴 (一般) 2 人 (報道) 0 人

以下のとおり概要を報告します。

1 第 17 回協議会報告書について

- ・副会長から協議内容を説明。出席委員で確認し、修正なし。

2 協議事項

(1) 議員定数 (議会改革フォーラム) について

- ・11 月 8 日に開催した議会改革フォーラムで実施したアンケート結果 (暫定版) の報告及びフォーラムを終えての気づき、今後のスケジュールの確認を行った。
- 現在実施しているオンラインによる意見募集 (11 月 10 日から 12 月 10 日まで) の結果とフォーラム当日のアンケート結果をまとめたものを次回協議会で示し、議員定数にかかる最終答申に向けた協議を進めていくことを確認。

(2) 政務活動費について

- ・今後の協議については、諮問事項のとおり「政務活動費の手引きの見直し」に絞り、そのうち、前回の協議で意見のあった広報費 (広報紙) について議論を深めていくことを確認し、事務局から他市の事例について説明を行った。
- ・「山口市議会として、政務活動費の手引きを作成しているが、これを守ろうが守るまいが、法的には何もなく、個人に全てかかってくる。今回、手引どおりやったら大丈夫だという (裁判でも負けないような厳しい) レベルで見直すのか、それとも手引きは目安として、あくまでも議員側の責任でやるということで見直すのかを初めに確認した上で中身に入っていく方がいいと思う」、「現時点では、細かくボリュームをもってつくるよりも、使いやすさに軸足を置いたような形の手引きになればいいと思う」、「中身については事務局との共通認識が必要」、「会派としての広報紙を、所属する議員各々で出すというやり方も考えられるのでは」、「会派内でコンセンサスが得られていれば、会派を代表し、構成員が会派報を出すという選択肢も可能ではないか」等の意見が出された。
- 手引きの見直しの基本的な考え方 (見直しのレベル) 等について、各会派で協議し、次回

以降、それに基づき、広報費（広報紙）の取り扱いについて検討を進めていく。

（3）倫理条例について

以下の方針により、今後の作業を進めていくことを確認。

- ・引き続き、「山口市議会基本条例」の遵守により、政治倫理の確立を図っていくこととし、現時点においては、倫理条例の制定は行わない。
- ・公職の立場にある議員としての役割や自覚等について再確認を行う必要があることから、「山口市議会基本条例」のさらなる遵守・徹底を図っていくため、基本条例に掲げる事項（説明含む）の整理を行う。
- ・議員自ら政治倫理を高め、常に説明責任を果たせるよう、公職にあるものに対して適用される法律以外に、どのような事案がその対象となり得るのかなど、他自治体が条例等で定める倫理基準等について研究する。

→ 今後の具体的作業

- ①倫理基準等についての研究
- ②山口市議会基本条例の整理（第19条（政治倫理）に関する説明部分の見直し）
- ③答申案の作成

3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

- ・次回の協議内容は、「議員定数」、「政務活動費」、「倫理条例」。